2008 年 05 月 01 日作成

製造販売承認番号　22000BZX00569000

機械器具１２　　理学診療用器具
管理医療機器　　温浴療法装置

カーボメディカ

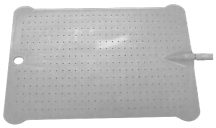
【禁忌・禁止】
・本機は温浴療法装置である。他の目的には使用しないこと。
・次のような場合には使用を中止すること。
①心臓疾患、感染症、悪性腫瘍、有熱者、結核性疾患、血圧異常、急性疾患、極度の衰弱時、妊婦、アトピーなどによる知覚・皮膚過敏症、幼児、または意思表示が出来ない方。
②その他、医師が不適切とみなした人

【形状・構成等】

１）機器構成は以下の通りである。（気泡浴用）



①本体



②散気板



③エアパイプユニット



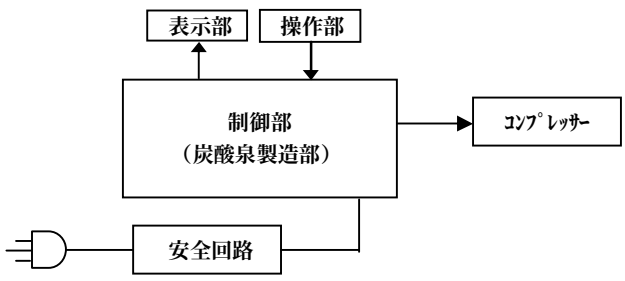
④エアホースユニット

２）電気的定格
電圧：　ＡＣ１００Ｖ
周波数：　５０/６０Ｈｚ
電源入力：　３００ＶＡ

３）機器の分類
保護の形式：クラスⅠ
保護の程度：B 型装着部を持つ機器

４）寸法及び重量
横 350×縦 400×奥行き 300mm

５）ブロック図



【性能、使用目的、効能又は効果】

本装置は、温浴療法装置としての気泡浴機能（本装置の厚生労働省品目許可の範囲）及び、付加機能として温水に炭酸ガスを混入させて炭酸泉を製造する炭酸泉製造機能がある。
気泡浴機能とは、水中で泡ができたり、泡が破裂するときに発生する音波や圧力の変化を利用したもので、次のような効果がある。

・効能または効果
温熱効果、マッサージ効果

【操作方法又は使用方法（用法・容量を含む）】

以下の手順の詳細は取扱説明書の「７．使用方法」を参照すること。

気泡浴装置としての使用方法

運転開始

① 運転モード切替スイッチを気泡浴側にすること。
② 使用する浴槽等に、散気板をセットし、温水を入れる。
③ 電源スイッチを ON 側にする。気泡浴運転を開始する。

運転停止

① 使用後は、気泡を発生させたまま、散気板を浴槽から取り出し、散気板に残っている水分をよく出してから、電源スイッチを OFF にし、電源プラグを電源コンセントから抜くこと。

【使用上の注意】

- 本体を水に浸さないこと。
- 可燃性雰囲気内で使用しないこと。
- 指定された電源電圧・周波数で使用すること。
- アースを必ず接続すること。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしたり、本体の操作をしないこと。
- 他の治療器と同時に使用しないこと。
- 本装置に衝撃を与えないこと。
- 本装置を傾けたり、倒したり、また上に重たいものを置かないこと。
- 本装置に異常（発煙、手で触れられないほど熱い、異音がする等）を感じた時は、直ちに使用を中止し、電源プラグを電源コンセントから抜くこと。その後、お求めになった販売店に連絡すること。
- 本装置に異物（金属、燃えやすい物等）を入れないこと。
- 本装置のそばに熱を発生する機器を置かないこと。
- 電源コードを無理に曲げたり、重いものを載せないこと。
- 電源コードが傷んできたら、使用を中止すること。
- 電源プラグを電源コンセントから抜く場合、電源プラグを持って抜くこと。
- 電源プラグの抜き差しによる運転や停止は行わないこと。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む場合は、電源プラグにほこりが付着していないか確認し、ほこりが付着している場合はほこりを取り除くこと。
- 本装置を清掃又は保守をするときは、運転を停止し、電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜くこと。
- 使用後は必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜くこと。

裏面もご覧下さい。

・ 雷雨時は、運転を停止し、電源スイッチを切り、電源コンセントから、電源プラグを抜くこと。
・ 停電時は、直ちに電源プラグを電源コンセントから抜き、電源スイッチを切ること。
・ 本装置の改造、分解、修理は絶対にしないこと。
・ 使用後の水抜き操作は確実に行うこと。
・ 他の薬品等と混ぜて使用しないで下さい。

【動作原理】

１）運転モード切替スイッチを気泡浴側にすること。

２）電源スイッチを ON にする。

気泡浴運転を開始すると、コンプレッサーが作動し、浴槽（本装置の範囲外）に入れた散気板から気泡が発生して、温浴療法を行う。コンプレッサーの動作は電源スイッチを切るまでまたは切替スイッチを炭酸泉側にするまで継続される。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

１）使用環境条件

周囲温度　　１０～４０℃
周囲湿度　　３５～８０％

２）保管環境条件

周囲温度　　５～５０℃（凍結なきこと）
周囲湿度　　２０～９０％（結露なきこと）

３）長期間使用しないときの保管方法

長期間使用しない場合は、装置内の水を抜き、散気板、エアパイプユニット、エアホースユニットを十分に乾燥した後、湿気の少ないところに整理して保管すること。

【保守点検に関する事項】

詳細は取扱説明書の「８．保守」を参照すること。

・ 日常のお手入れは、よく絞った布で本体を拭くこと。散気板、エアパイプユニット、エアホースユニットが汚れた場合は中性洗剤を使用し、スポンジなどで洗うこと。
・ 給水ユニットのストレーナーにゴミが溜まった場合は、ストレーナ中にある網を取り出し、中性洗剤で洗うこと。
・ エアクリーナーは３ヶ月に一度清掃を行うこと。

【包装】

１台

【製造販売業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者

業許可番号：06B2X00003
名　　称：テクノモリオカ　株式会社
住　　所：山形県長井市成田２６１３番地
電話番号：０２３８－８４－０１７０